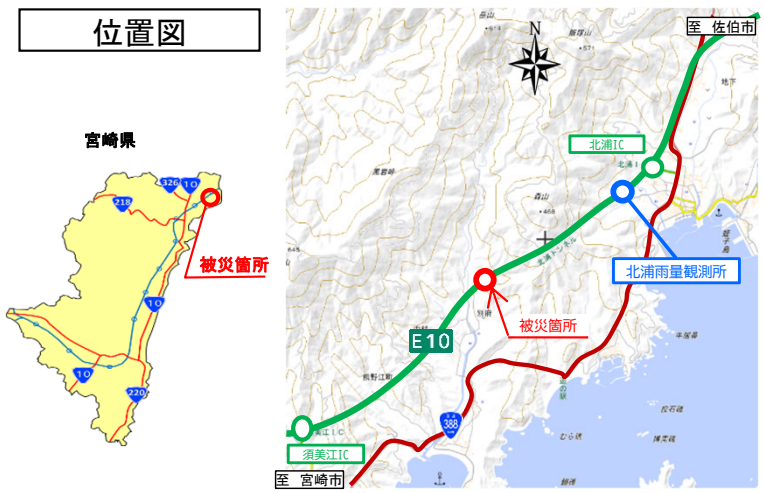

令和6年10月21日大雨

○(被害状況)・・令和6年10月22日13時～23日1時の13時間で、319mmもの豪雨に見舞われ、東九州自動車道(延岡市北浦町。北浦トンネル終点側坑口上部)において、地滑りが発生し、路面に土砂が流入し通行に影響をもたらした。

○(対応状況)・・早急に通行規制を解除するため、路面に堆積した土砂を撤去し、ブルーシート及び大型土嚢を設置。

位置図



被害状況



応急復旧作業完了





建設サービス(株)
加藤 楓真氏

○大雨による北浦トンネル終点側坑口上部の地滑りの連絡を受け、直ちに作業班を編成し、未明より土砂撤去、崩落法面保護を開始しました。東九州道は、人流・物流に多大なる役割を担う重要な路線であり、早期の通行止めの解除を望む思いを胸に、作業員全員が一丸となって全力で復旧作業に当たり、通行を再開することができました。帰路、再開した利用者の通行を見た時の気持ちは、言葉では形容しがたく忘れる事ができません。



(株)盛武組
盛武 一貴氏

○大雨による土砂流出災害個所の東九州道北浦トンネル坑口上部の土砂流出防止対策として、大型土のうや仮排水設備を設置しました。作業にあたっては、50トン吊りクレーンを配置換えしながら、作業半径を十分に確保し安全に作業を進めました。また、協力会社と連携し、作業体制、役割分担、資材の運搬サイクルを綿密に計画し、夜間の一日で作業を完了しました。この間、二次災害が発生しないよう、安全対策を徹底し、全作業が無事に完了し、事故なく目標を達成することができました。

- (被害状況) 令和6年10月22日に記録的短時間大雨情報が発表され、120ミリの/時間程度の降雨があり、延岡市浦城町で土砂災害が発生、1名が行方不明となりました。
- (対応状況) 延岡市からの要請により、同23日14時より照明車の手配を行い、26日朝までの間、宮崎県、消防署、警察、自衛隊等の搜索活動支援として24時間作業を支援しました。



活動場所: 宮崎県延岡市浦城地先



被災状況写真

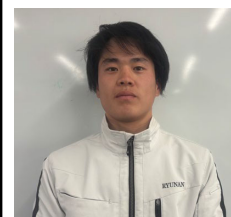
- 異常気象と言われる昨今ですが、10月に台風以外でこのような降雨があることは過去にはありませんでした。
残念なことに被災者の方の貴重な命を救うことはできませんでしたが、弊社では、土砂災害による搜索活動として、照明車を出動させ、24時間の連続した救出活動を支えることができたと感じています。
国、県、市の連携した活動をサポートし、二次災害を考慮しながら、72時間以内に何を行うべきか考えさせられる現場での活動となりました。

(湯川建設(株) 服部氏)



照明車活動状況写真

○令和6年10月21日から22日にかけて断続的に発生した局地的豪雨により、国道220号串間市奈留地区、日南市風田地区において、国道への土砂流入により全面通行止めが発生。
○22日夜間より、災害状況の把握、復旧作業支援のため、照明車2台を派遣し運用を実施した。
10月27日まで夜間における現場の照明作業を実施し、早期復旧に貢献した。



龍南建設株
長谷川 洋輔氏

○緊急出動要請の連絡を受け、ポール式照明車を日南市風田地区まで移動、また、ブーム式の照明車を串間市奈留地区へ移動し現場の照明作業を行いました。

○担当職員と連絡を取り合い、この役割を当社員全員が理解し行動したことで早期復旧へ向けた迅速な対応ができました。

- （被害状況）：令和6年10月21日から22日にかけて発生した豪雨により国道220号串間市奈留地区において土砂流入が発生し、全面通行止めとなった。
- （対応状況）：応急復旧工事の状況および法面の状況を把握するためのモバイル監視カメラを設置した。
また商用電源が供給されるまでの期間、仮設電源で運用し被災状況把握や復旧作業に貢献した。

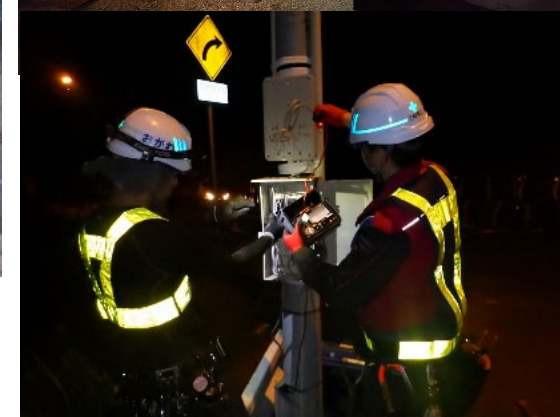
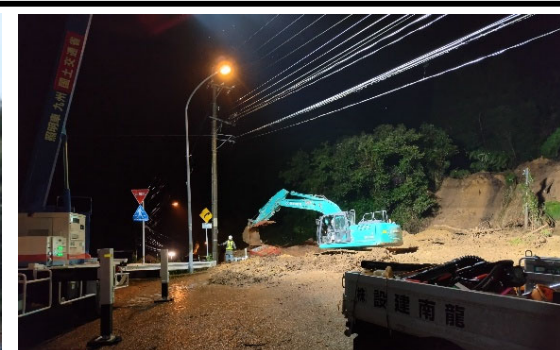


（株）ケーネス
古屋 弘明 氏

○10月23日から串間地区に災害監視用モバイルカメラ・仮設発電機の設置、および後日、九州電力による商用電源供給への変更作業を実施いたしました。
監視カメラによってリアルタイムで現場の状況を把握できるため、復旧作業が進み、災害現場付近の安全確保や二次災害の防止にも繋がるという思いで、迅速に現地対応しました。

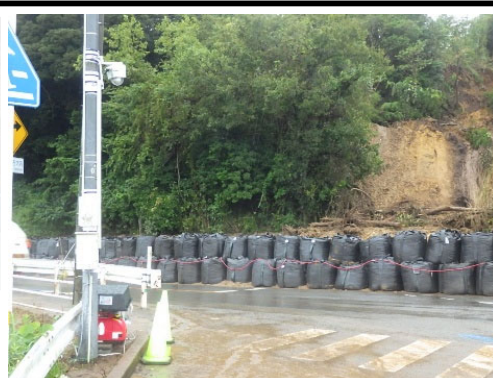


【据付作業】



【配信映像】

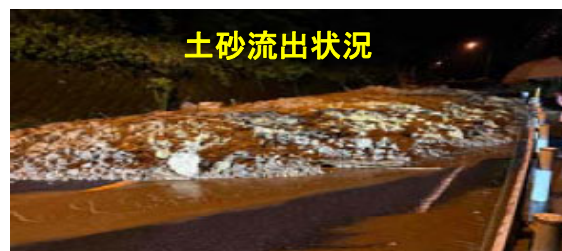
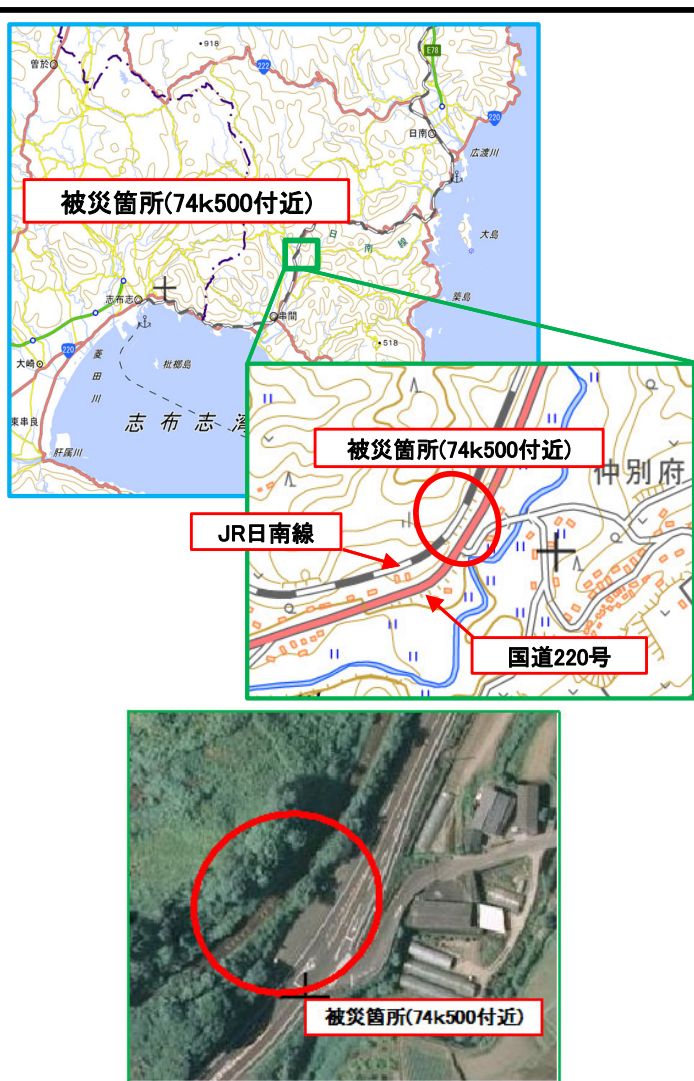
串間地区



【カメラ・仮設電源】

○(被災状況) 令和6年10月21日からの豪雨により、串間市奈留地区(74k500付近)において、同22日18:00頃国道220号線に山手側から土砂が流出し、JR日南線と国道が通行不能となった。

○(被災状況) 被災直後から土砂の撤去作業を開始し、被災から24時間後に車道及び歩道を交通開放した。さらに、流出のおそれのあった道路脇の土砂も引き続き撤去した。



緊急な夜間作業にもかかわらず、重機・ダンプトラック・人員等の手配・土砂の仮置提供等、多くの方々【(株)谷口重機建設、串間運送(有)、(株)清友開発】のご協力のおかげで迅速な復旧ができ、お陰様で(その56)(その59)作業は無事完了することが出来た。ありがとうございました。大変ご苦労様でした。



(その59)作業
松浦建設株式会社
河野 義直



(その56)作業
永野建設株式会社
栄 浩一郎